

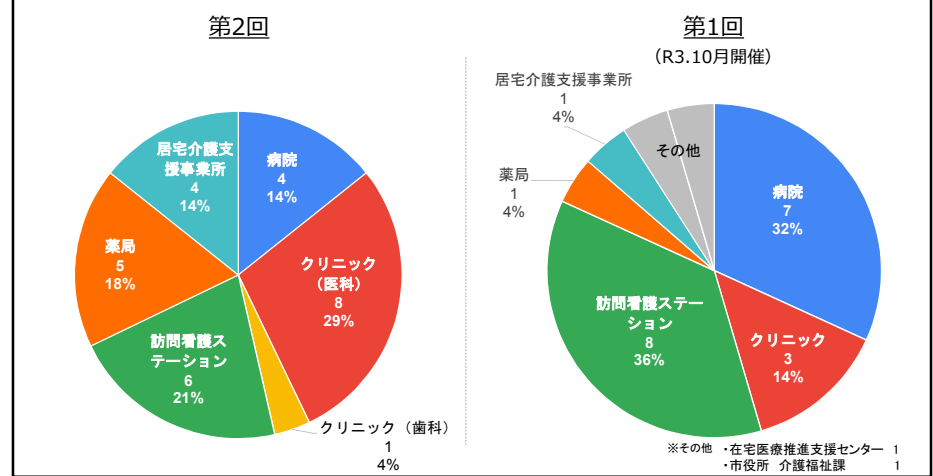
令和4年2月22日（火）開催

第2回 在宅あるある会 アンケート結果

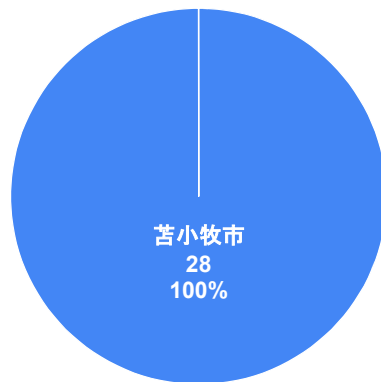


参加者 46名
回答 28件
回答率 60.9%

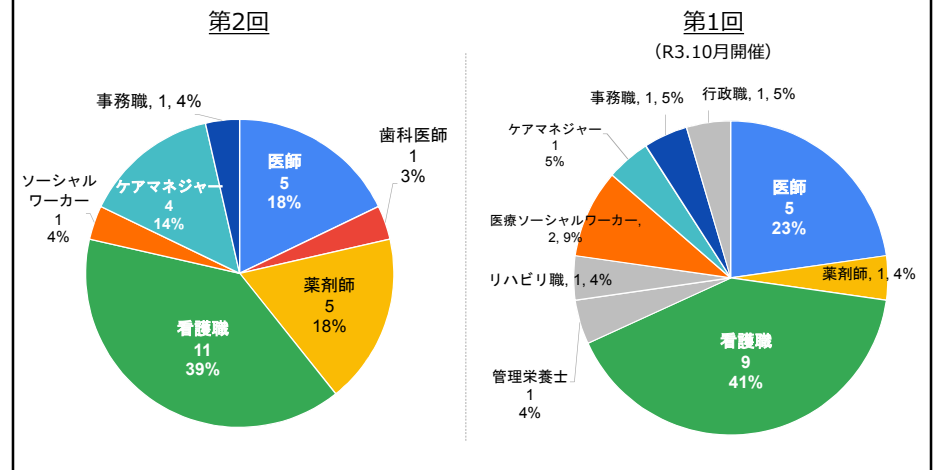
問1 該当する所属機関を1つお選びください。



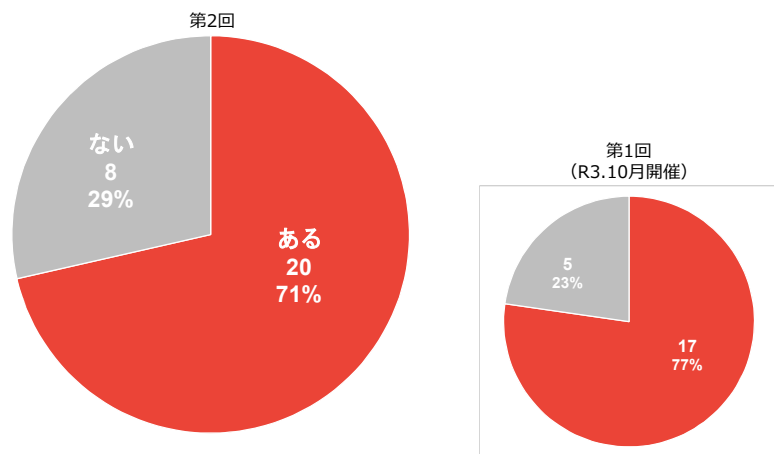
問2 所属機関の地域を選択してください。



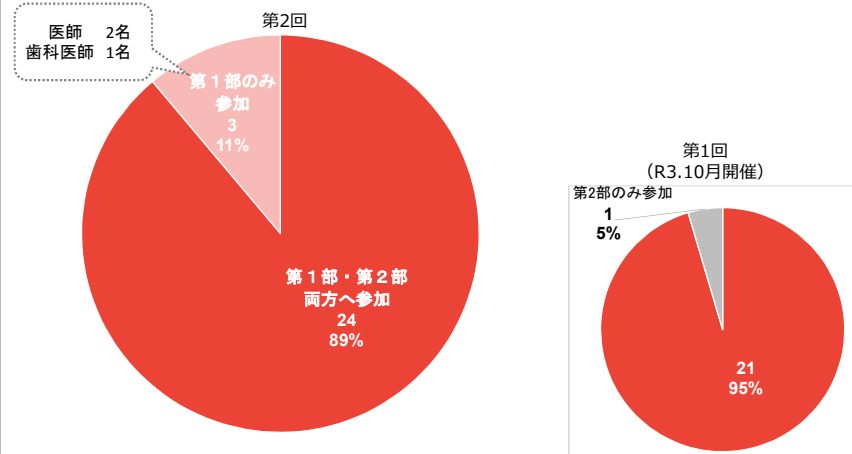
問3 該当する職種を1つだけお選びください。



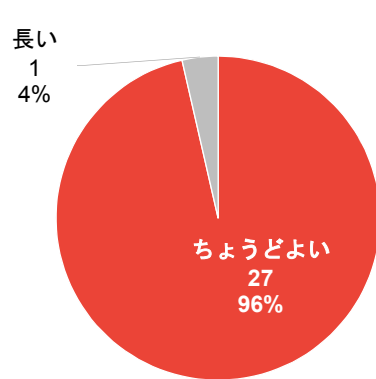
問4 この一年間で在宅医療に関わったことがありますか。



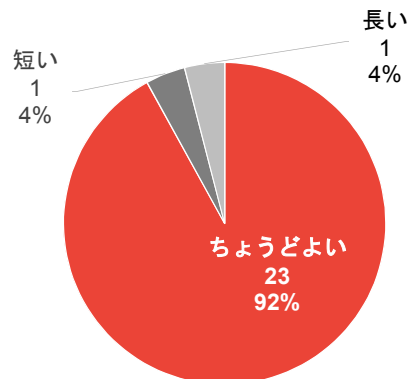
問5 参加状況をお知らせください。



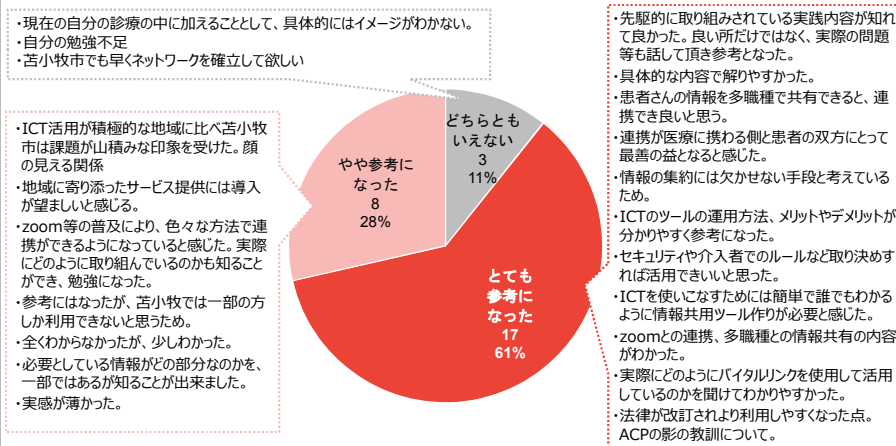
問6 第1部（テーマ研修）の時間はいかがでしたでしょうか。



問9 第2部（在宅あるある懇談会）の時間はいかがでしたでしょうか。



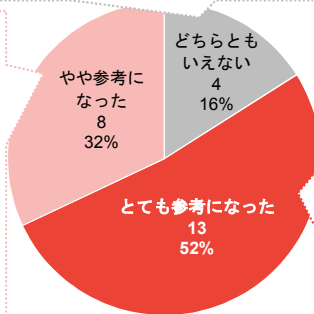
問7・8 第1部テーマ研修は参考になりましたか。また、その理由について教えてください。



問10・11 第2部在宅あるある懇談会は参考になりましたか。
また、その理由について教えてください。

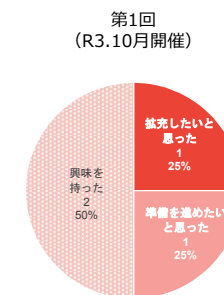
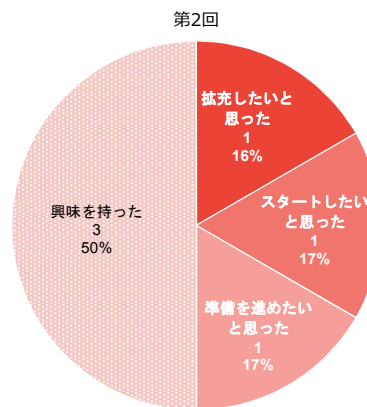
・よく理解できなかった。 ・自分の勉強不足。
・懇談のテーマ・内容は良かった。様々な立場からのコメントも大事だと思う。何を求めるのか、
どういう方向性を目指すのかが大切で時間が掛かってよく話し合いをした方が良いというコメントに同感です。何か進行側のICT化を進める事が優先の視点が目立つ印象があったため、
好印象にならなかったのが残念。

・ネットワーク構築の必要性と、その手間等、現場の声を聞くことが出来た。
・様々な職種からの意見が聞けてよかった。
・今後のプランを先に話し合うことが大切とわかった。
・多職種の方々の現状を少し理解できた。
・短い時間でも薬剤師や他の職種の意見も聞きたい。
・病院、訪問看護師、介護支援専門員の退院支援時の連携の方法が、周りの環境により変わってきていると思った。やはり、顔の見える関係性をどのように作っていくかが焦点と感じた。
・もう少し在宅介護での話が聞けると良かった。

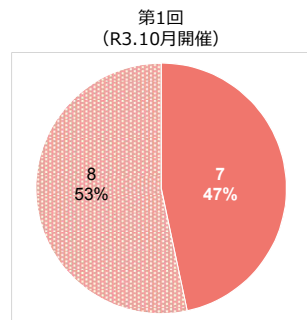
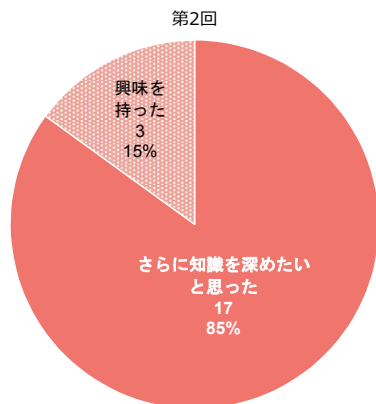


・様々な意見があり、まさにその通りと思った。
・皆さんの悩める部分をきけて参考になった。
・それぞれの情報をすぐに確認できる点はとても参考になった。
・使用している方もいますが、医療と介護の連携手帳は2年程で消えてしまった。
・問題点も知る事が出来、新たなツールの必要性も知る事が出来た。
・様々な職種からの意見が聞けて参考になり、ICT導入の課題が見えた。
・三木先生のアイデアや、草場先生の空闊の現在の状況を聞き、苫小牧がツール選択する際の参考になると感じた。
・積極的に導入したいが、地域として方向性が決まらないと莫然と運用してしまうと感じた。
・スマホ、パソコンの活用。

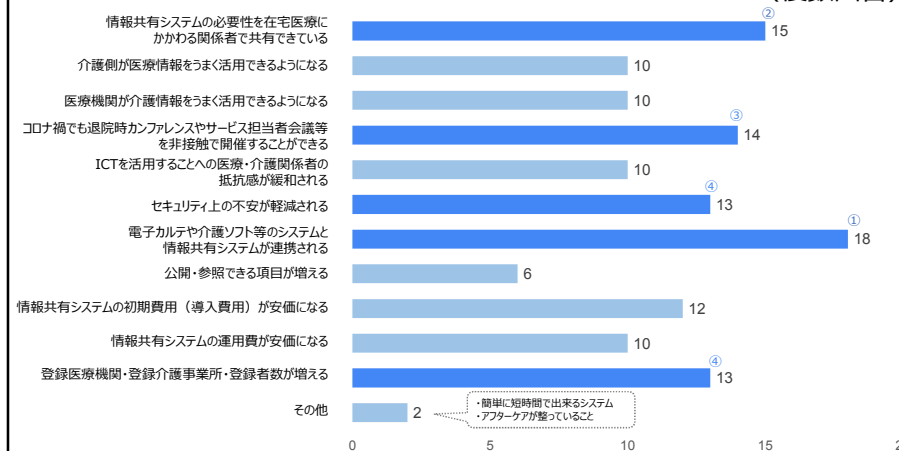
問12 医師の方にお伺いします。
今回の在宅あるある会に参加し、在宅医療に対してどう思われましたか。

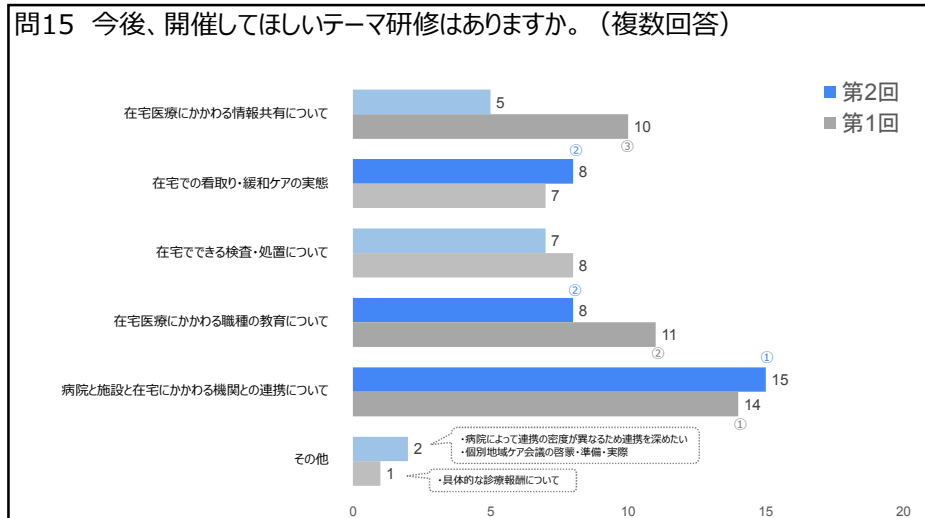


問13 医師以外の方にお伺いします。
今回の在宅あるある会に参加し、在宅医療に対してどう思われましたか。



問14 どのような条件が整えば、情報共有システムを活用したいと思いますか。
(複数回答)





問16 今後、在宅あるある懇談会で取り上げてほしい内容があればご記入ください。

- 在宅での看取り・医療との連携について
- 病院外来との連携で困った事
- 困難例
- 認知症患者さんの対応等
- ヘルパーさんも絡めて欲しい

問17 そのほか、在宅あるある会についてのご意見、ご質問があればご記入ください。

- 皆さん大変かと思いますが継続してお願いします。
- 前回の在宅あるある会の時も思いましたが、最後のまとめに、グラフィックレコーディングで説明してもらえるのは、振り返りもでき、見やすかったので、続けてほしいです。